1 防疫措置をとる施設の状況

| No | 措置決定 月日 | 施設名 | 防疫措置をしたクラス等の状況 | | | | | |
|----|------------|------------|----------------|---------|---------|-------------------|------|-----------------------|
| | | | クラス名等 | 在籍者数(人) | 患者数 (人) | うち 欠席者 数(人) | 防疫措置 | 措置期間 |
| 1 | 10月10日 | 岡崎市立広幡こども園 | 緑組 | 18 | 11 | 8 | 学級閉鎖 | 10月11日 ~ 10月14日 |

2 インフルエンザの症状

のどの痛み、鼻汁、咳などの症状に加えて、突然の38度以上の発熱や頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身の症状が現れます。また、小児ではまれに急性脳症を、高齢者や免疫力の低下している方では肺炎を伴うなど、重症になることがあります。

3 注意事項

次のことに注意して感染予防に心がけましょう。

- (1) 疲労、不摂生を避け、十分な睡眠、栄養、保温に心がけ、体調を整えましょう。
- (2) 人混みや繁華街への外出を控え、帰宅時には、流水・せっけんによる手洗いをしましょう。
- (3)室内では適度な湿度(50%から60%)を保ち、こまめに換気をしましょう。
- (4) 「咳エチケット」を守り、症状のある人はマスクを正しく着用しましょう。
- (5) 流行前にインフルエンザワクチンの接種を受けましょう。

「咳エチケット」とは

- ◆ 咳・くしゃみの際にはハンカチやティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りのひとから顔をそむけましょう。
- ◆ 使用後のティッシュを、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。
- ◆ 症状のある人はマスクを正しく着用し、感染防止に努めましょう。